一般質問

谷口 議員

○地域経済活性化に向けた「アジフライの聖地」宣言後の本市の取り組みについて

質 4月27日、「アジフライの聖地」宣言を行った。メディア等でも取り上げられ、グルメ観光を推進してきた本市にとり大きな効果を生んだ。今後は、現在のブームから文化へと昇華させる取り組みが欠かせない。その一環として、交流人口が拡大する中で、提供店が集中する志佐中心部の駐車場等の受入れ体制整備に取り組む必要があるのではないか。

地域経済活性課長 実際すぐ駐車場を整備するとなっても土地の問題等もあるので、商店街内の空き店舗や空きスペースの活用について所有者や商店街の皆様と一緒に検討していきたいと思います。

質 注目が高まった今、ぶどうやメロン、ふぐ、マグロ等の特産品も活かす工夫が必要である。また、経済効果を飲食店だけでなく、その他の商店や産業に波及させることが不可欠だと考えるが、本市の取り組みは。

市長 観光客の皆様に商店街や道の駅やそれ以外の観光地へ足を運んでいただく仕組みづくりのため、庁内にプロジェクトチームを立ち上げたいと考えています。それを市内の店舗の皆様と共有し、互いに知恵を出し合い、関係機関と連携して農業、漁業の産品をPRして市全体が活気づくように取組を進めていきたいと思っています。

○地方税法改正に伴うふるさと納税に係る指定制度創設が本市へ与える影響について

質 6月1日から運用開始された指定制度の概要はどのようなものか。

政策企画課長 総務大臣が対象期間を通して指定基準に適合する自治体を対象団体として指定するというものです。指定の基準は、返礼品について、返礼割合を3割以下とすること、総務省が示す地場産品基準を満たすこと、募集を適正にする（強調した宣伝広告を行わない。募集経費を寄附金額の5割以下とする。）ことの3点です。

質 重要な財源となっている中で、今後も寄附獲得に向けた取り組みが欠かせない。本市の返礼品調達率、募集経費率はどの程度か。また、新制度創設が本市へ与える影響はあるか。

政策企画課長 本市の平成30年度決算見込みの募集に係る経費率は58・9％です。新制度により大きな変更点はありませんが、経費を5割以内に抑えるため、新聞や雑誌、インターネット等の広告費を削減するといった努力をしています

一般質問

鈴立 議員

○児童虐待、家庭内暴力への未然防止対応施策の現状について

質 児童虐待及び家庭内暴力による痛ましい事件が起き、尊い幼い命が失われている。虐待としつけの判断ができない親の行動が起因と思われる。成長過程の各年代における人間の尊厳、命の尊さ、親子関係の大切さ等を必然的に身に付ける環境のなさが危惧される。市は未然防止対策として、どのような施策を講じているのか具体的にお答えいただきたい。また、痛ましい事件が起きた場合の対応についての行動手順をお聞かせください。

子育て・こども課長 未然防止については、子どもを妊娠したときから、お母さんや家庭に困り事がないかを保健師が聞き、個別のサポートをしています。切れ目のないよう、その後も家庭訪問をしたり、機会を捉えて保護者に寄り添うような支援をしています。また、教育委員会とも連携して各学校を訪問し、気がかりな児童がいないか確認しています。そのようなことを察知した場合は、本人に確認したり、面接をして対応しています。

虐待が起きたときには、学校、警察、児童相談所と一緒に対応しています。できるだけ24時間以内に子どもの安否を確認し、家庭に帰せるような状況であれば保護者を呼んでお話を差し上げますが、帰すと大変危険な状態の場合は、一時保護等を児童相談所や警察と確認しながら進めているところです。

○ゴミ収集、分別全般における現状について

質 前回の質問において、山間地集落の高齢者の方の負担軽減に対応した新たな収集場所設置をすべきであると質問をしたが、早々に設置の対応がなされた。お礼を申し上げます。高齢化社会に対応した施策は大変重要である。ところで、最近ゴミ分別が悪い。意識の低下により適切な分別が行われないことは資源の損失であり、特にビニール、ペットボトルなどの散乱は地球環境に悪い影響を与えている。収集業者の方も苦慮されておられる。再度周知の徹底、広報をすべきと思うが考えを伺いたい。

市民生活課長 市の取り組みとしては、市報やホームページ等を活用し、ごみの分別や資源化への協力をお願いするとともに、各地区及び各団体の会合など、あらゆる機会を捉えて啓発活動に努め、モラルの向上に向けた取り組みを今後も進めていきたいと考えています。